

## キロ程ベースでの位置情報一元化による 鉄道設備統合管理システム

吉田尚史 田中博文 西本正人 三和雅史

従来、鉄道設備に関する台帳データや検査データは、軌道・土木・電力等の分野毎、検査種類毎で別々に管理されることが多く、各分野の設備の劣化原因の推定にはその個別分野で保有するデータのみを分析して保守に活用されるという使い方が一般的でした。一方、近年では、軌道の検査のために検測車等で定期的に車上測定されているデータを用いて、土木分野の共振橋梁を検知する手法が提案されるなど、他分野で取得されたデータを活用した設備の診断・管理法が提案されつつあります。そこで著者らは、このような分野を超えた設備の維持管理の実現を容易にするため、各分野で取得・管理されているデータの一元管理システムの開発に取り組んでいます。本稿では、一元管理シ

ステムに実装を想定している機能とそれを実現するための要素技術の開発状況、さらに、一元管理システムを活用した設備の維持管理の展望を紹介します。



図 一元管理システムのメイン画面イメージ